

## カラクサケマン属の外来種

会長 勝山輝男

カラクサケマン属 *Fumaria* L. はいずれも越年草で、外形や花の形態はキケマン属のムラサキケマンに似ているが、果実は球形で裂開せず、1種子を入れる点が異なる。ヨーロッパ、アフリカ、アジアに約 60 種があり、一部はコムギ畑の雑草として知られる。いずれの種も形態は似ていて、茎は直立または長く伸び、葉は互生、葉身は3回羽状に裂けることが多い。花序は総状で 10-30 花をつけ、花柄の基部に苞がある。花冠は白色～ピンク色で先が暗紅色。花弁は4枚、上側の花弁は基部が距となり、萼は2枚で左右から花冠を挟む。果実は偏球形で径 2mm 程度である。

日本に在来のものではなく、カラクサケマン、ニセカラクサケマン、セイヨウエンゴサクの3種が稀に帰化。日本の図鑑類ではこれら3種を含む検索表がなく、同定に迷うことがある。そこで、これらに竹松・一前(1993)が取り上げた和名のない3種を加え、Sell(1993)やClive(1997)を参考に検索表を作成した。

a\_果柄は下向きに曲がる→*F. capreolata* ニセカラクサケマン

a\_果柄は直立または斜上

b\_花は長さ 6mm 以上、萼片は長さ 1.5mm 以上

c\_苞は果柄と同長または長い→*F. densiflora*

c\_苞は果柄よりも短い

d\_乾燥した果実は平滑、先は円形または凸形

→セイヨウエンゴサク *F. muralis*

d\_乾燥した果実は皺があり、先は切形または凹形

→カラクサケマン *F. officinalis*

b\_花は長さ 5-6mm、萼片は長さ 0.5-1mm

c\_花冠は白色～淡紅色、苞は果柄と同長→*F. parviflora*c\_花冠は淡紅色～紅色、苞は果柄より短い→*F. vaillantii*ニセカラクサケマン *Fumaria capreolata* L.

花冠は長さ 10-13mm、ふつう白色で先が暗紅色、2枚の萼片は卵形で長さ 4-6mm、基部付近に鋸歯がある。花序の上部まで咲いていけば、下方の花はすでに柄が曲がり下を向く。地中海沿岸原産で南北アメリカやオセアニアなどに帰化。県内では相模原市で採集され、秋山(2003)に良い図が載っている。

## 花冠と果実

左:ニセカラクサケマン

2012年相模原市

KPM-NA0202488

右:セイヨウエンゴサク

2006年川崎市

KPM-NA0128008



スケールは 5 mm

*Fumaria densiflora* DC.

花序は 15-30 花で柄よりも長い。花冠は長さ 6-7 mm、ピンク色、萼片は長さ 2.5-3.5 mm、幅 2-3 mm。果実表面に皺があり、円頭。長田(1976)p.295 のカラクサケマンは苞が長く、果実の先が凹まないの、本種の可能性がある。地中海沿岸～西アジア原産、オーストラリアに帰化。

セイヨウエンゴサク *Fumaria muralis* Sond. ex D.J.Koch

花序は柄とほぼ同長で 10-15 花をつける。花冠は長さ 9-11 mm でピンク色。萼片は長さ 3-5 mm、幅 1.5-3 mm、基部付近に鋸歯がある。西ヨーロッパ原産、南アフリカやオセアニアに帰化。『神植誌 18』のカラクサケマンは本種?。ネットでは松江の花図鑑に良い写真が掲載されている。

カラクサケマン *Fumaria officinalis* L.

全体に粉白を帯びる。花序は柄よりも長く、20 花以上をつける。花冠は長さ 7-9 mm、ピンク色で、下側の花弁は先がさじ状に広がる。萼片は長さ 1.5-3.5 mm、幅 1-1.5 mm、全周に不整の鋸歯がある。ヨーロッパ、西アジア、北アフリカに広く分布し、南北アメリカやオセアニアに帰化。ネットではウィキペディア日本語版のカラクサケマンのページに掲載されている写真がよく特徴をとらえている。

*Fumaria parviflora* Lam.

花序は 7-15 花。萼片は長さ 0.5-0.7 mm、幅 0.5-0.7 mm。果実は円頭でやや尖る。ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア原産。オーストラリアに帰化。

*Fumaria vaillantii* Lois.

花序は 6-20 花、萼片は長さ 0.7-1 mm、幅 0.3-0.5 mm。果実の先はやや切形で凹む。ヨーロッパ～西アジアに分布。

## 文献

秋山幸也, 2003. 相模原市にニセカラクサケマンを確認. *Flora Kanagawa* (55): 664-665.

ウィキペディア日本語版, カラクサケマン. <https://ja.wikipedia.org/wiki/カラクサケマン> (accessed on 2022. 3.20).

金井和子・田中徳久, 2018. ケシ科. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2018. pp.652-659. 神奈川県植物誌調査会, 小田原. 松江の花図鑑, セイヨウエンゴサク. <https://matsue-hana.com/hana/seiyouengosaku.html> (accessed on 2022. 3.20).

長田武正, 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 425pp. 64pls. 保育社, 大阪.

Sell, P.D., 1993. *Fumaria* L. in Tutin et al., *Flora Europaea* Vol.1, 2 ed. pp.306-311. Cambridge University Press, London.

Clive, S., 1997. *New Flora of the British Isles*, 2 ed. 1130 pp. Cambridge University Press, London.

竹松哲夫・一前宣正, 1993. 世界の雑草II 離弁花類. 835pp. 全国農村教育協会, 東京.